道標！ 経営のヒント ■218■

コンテンツキュレーター　小倉　理加

今こそ知る、日本の原点

いよいよ、令和2年の幕開けである。今年は、夏に多くの人が待ち望んだ国際的なスポーツの祭典が開催されるなど、日本が世界から注目される1年だ。日本の魅力を国外へアピールできる好機の到来といえるだろう。

では、いざ〝日本らしさ〟とは、どのようなものかを説明するとなると案外難しい。一度、日本在住の外国人の方々に「日本の魅力は？」というテーマでインタビューを行ったことがあるが、多くの人が「新旧入り混じっているところ」と答えた。〝新〟の部分は、昨年相次いだ、日本橋や渋谷などの開発を見れば一目瞭然。渋谷の駅前などは、子供の頃に映画やアニメで見たような未来都市が実現したような様相だ。

ところが、〝旧〟の部分となると、よい例がどんどん影を潜めているような気がしてならない。そこで、年末に日本の原点ともいえる奈良を旅してみることにした。「御代替わり」に伴う一連の行事でも注目された「橿原神宮」をはじめ、日本最古の一つである神社が集積する地であり、日本の神話の片鱗が今でも多く残る場所。そこで、幸運なことに、日本古来の貴重な光景を目にすることができた。「春日大社」の摂社である「若宮神社」の「春日若宮おん祭」だ。

12月17日午前0時に始まる「遷幸の儀」と、それに続く「暁祭」。吐く息も白く、寒さが一層極まる深夜に行われる、若宮神を本殿よりお旅所の行宮へお遷しする儀式である。儀式は、一切の明かりを消した闇夜の中で厳かに進行する。榊の枝で幾重にもお囲みした神霊が、100人ほどの神職に伴われて進んでくる。暗闇と静けさの中、お旅所にて神霊の到着を待っていると、徐々に一緒に行列を成す楽人たちの雅楽の調べが遠くに聞こえてきた。近づくに連れ、音色の調べと呼応する「ヲー」という警蹕が聞こえるようになる。やがて、松明の炎の音を先頭に、神霊のご到着。月明かりを頼りに、「ヲー」という神秘的な声の重なりで守られた神霊が目の前を通る様子は、なんとも畏れを感じるほどのものである。

目に見えない精神的なものではあるが、確かに周囲の空気が変わったことを肌で感じることができた。眠っていた感覚が、ゆっくりと呼び覚まされるような感覚と言えばよいだろうか。

考えてみれば、日本は目に見えない〝気配〟に敏感に生きてきた民族だ。今回、奈良では、山をご神体とするため本殿を持たない神社も目にした。祖先たちは、見えないものに価値を見いだし、畏怖を感じる想像力豊かな人たちだったことに改めて思いをはせた。忙しいと目の前のことで精一杯になるが、混沌とした世の中で、見えない〝気配〟に目を向けることこそが大切であると気づかされた一夜だった。

20年の景気見通し

37％が「悪化見込む」

帝国データ 企業の意識調査　人手不足を懸念

帝国データバンクはこのほど、全国の企業約2万社に2020年の景気見通しに対する意識調査を行った。2020年の景気について、「悪化局面」を見込む企業割合が37・2％と、前年調査比7・8ポイント上昇した。一方、「回復局面」を見込む企業割合は同2・3ポイント減の6・8％。景気の先行きについて、1年前より厳しい見方を強めている様子がうかがえる。景気への懸念材料は「人手不足」が最も多く挙がった。

このほか、「踊り場局面」が同5・4ポイント減の32・8％。「分からない」が同0・1ポイント減の23・2％。

悪化局面と見込む割合は2年連続で増加。調査開始以来（06年11月調査の07年見通し）、09年見通し（70・5％）、08年見通し（43・1％）に続く3番目に高い水準となった。

悪化局面を見込む企業割合を9の業界別に見ると、小売の40・7％がトップ。以下、不動産の40・1％、運輸・倉庫の37・9％、卸売の37・8％、製造の37・0％、サービスの36・2％が続いている。

企業から「東京五輪関連の投資が終わり、観光もピークを迎え、悪化局面に入る」（木造建築工事、北海道）、「地域の不動産業においては、復興特需の反動で低迷期に入ると思われる」（不動産管理、熊本県）、「現状はキャッシュレスポイント還元などにより、消費税率引き上げの影響は小さいと見ている。しかし、2020年6月までの限定的な動きであり、その後は下落幅が大きくなると予想する」（化粧品小売、東京都）などの声が挙がっている。

2020年の景気に悪影響を及ぼす懸念材料を三つまでの複数回答で聞くと、「人手不足」が46・2％とトップ。以下、「中国経済」（34・8％）、「原油・素材価格（上昇）」（24・9％）、「米国経済」（22・8％）、「消費税制」（22・1％）、「貿易摩擦の激化」（21・8％）が続いた。

前年調査との比較では、人手不足は同率。中国経済が16・6ポイント増と大きく増加した。消費税制は33・2ポイント減と大きく減少した。

今後、景気が回復するために必要な政策は（複数回答）、「人手不足の解消」が39・6％とトップ。以下は「個人消費の拡大策」（33・8％）、「所得の増加」（31・3％）、「公共事業費の増額」（26・7％）、「個人向け減税」（26・5％）、「年金問題の解決（将来不安の解消）」（25・9％）などとなっている。

調査は全国の企業2万3678社に実施。このうち1万46社から有効回答を得た。

日体大理事長　松浪健四郎モノ申す

地方再生・創生論 149

新しい年、自治体も「棚卸し」を

商売をしていると、棚卸しが常識である。だが、われわれのように商品を扱っていない業種には棚卸しはない。会計調査や税に関する調査等があるにつけ、一個人としての棚卸しを新年を迎えるたびに行う必要がある。所得に関する棚卸しではなく、精神的な、家族的な棚卸しだ。私には家族サービスが不足らしい。

私は日体大の理事長として、在学生たちが学園生活に満足しているかが気にかかる。そこで事務局内に「学生生活満足調査課」を設置。いわば大学の棚卸し課だ。高い授業料を払っている学生たちに不満があってはまずい。主役が学生なのだから、彼らの満足度をチェックする必要にかられる。

かかる発想は、スイス政府が自国民の生活満足度を調査する部局を設置していると知ったからである。私は、自治体もやるべきだと思った。なぜ、過疎化が進むのか、それは各自治体の政治が無策で機能せず、住民に見捨てられたに他ならない。故郷を見限る理由は多々あろうとも、生活の満足度が低いのだ。

地域社会であろうとも、都会以上の魅力がある。地方自治が個性的で特徴があり、住民が活躍できる舞台をいかに創造するかを本気で取り組む自治体ならば、満足度は高いだろう。過疎化とは、そこに仕事がなく、教育や近代化すべき点に遅れがあり、住民が去ることだ。

先ごろ、国連の関連団体が、世界の156カ国を対象にした幸せランキングたる「世界幸福度報告」を公表した。これだけ自由があり、豊かである日本は、文化国家でありながらも58位。日本は健康寿命が世界2位、1人当たりのGDPは24位なのに、幸福度は低いのだ。

国連の団体が6項目について分析した結果らしいが、人生の選択自由度が64位、寛容さが92位である。この棚卸しは、心すべきだ。人生の選択の自由度は、地域社会での住民にも当てはまる。寛容さについても、昔ながらの風習を大切にする地域にあっては、なかなか認められない。日本の幸福度の低さは、地域社会にも比例してはいまいか。

「幸福度」の高い国は、1位がフィンランド、2位がデンマーク、3位がノルウェーの北欧3カ国。しかも10位以内に欧州諸国が大部分を占める。風土の厳しい国、消費税の高い国であろうとも「幸福度」が高いのに驚く。上位3カ国の福祉制度の充実は模範的だが、消費税は約30％。それでも国民は幸福だという。

中国は93位と下位にある理由は、やはり社会主義制度が影響しつつ、政治的な自由を持たないからであろう。韓国は日本よりもやや上位で58位、日本人よりも幸福というのは残念。アメリカは19位、民族差別や医療費の高額等が幸福度を下げている。ちなみに上位3カ国の医療費や教育費は、ほとんど無料。消費税が高くとも安心して生活できるシステムが幸福度を高めているかに映る。

生活満足度と幸福度は異なるかもしれぬが、その国や地域で暮らす人たちの評価であることに違いはない。行政サービスの良い国は、当然ながら税金は高い。それでも国民は幸福だと感じるゆえ、日本人の感性とは異なる。国民性が、この種の調査を左右している印象を受けるにつけ、日本人は生活に満足せずして幸福であると実感していないのだ。

この傾向は、地方へ行けば行くほど高まる。しかし、北欧3カ国に幾度も往来した経験をもつ私だが、のんびりとした自然を大切にするイナカの国と感じ入る。このことは、地方自治体の取り組む姿勢次第では、住民が高い幸福度をもつ可能性をはらむ。自治体が常に住民の意識を把握せず、横並びのダメなありきたりの政策しか実行しないようでは、住民が満足するわけがない。新年を迎え、住民の生活満足度調査を行うがいい。自治体の棚卸しだ。

過疎化を食い止めるには、大胆な政策が求められる。北欧3カ国を研究し、住民の安心安全度を高めるべし。税金は低いほどいいという思考は古い。住民を増やすための研究、各自治体は諦めずに取り組んでほしい。

TPは14ヵ月ぶり減

特定サービス産業の売上高

10月速報

経済産業省はこのほど、特定サービス産業動態統計調査の2019年10月分速報を公表した。対個人サービス業の趣味・娯楽関連5業種の売上高は、全てが前年同月を下回った。遊園地・テーマパーク（TP）は10・5％減の597億9500万円と、14カ月ぶりに減少した。同月は消費税率が8％から10％に上昇している。

TPの内訳は、入場料金、施設利用料金収入が9・6％減。入場者数は一般が14・3％、団体が8・5％それぞれ減少し、全体で13・7％減少した。

ゴルフ場は2・1％減の91億1600万円と、4カ月ぶりに減少。利用料金収入が1・1％、利用者数が1・8％それぞれ減少した。

ゴルフ練習場は4・3％減の25億5700万円と、5カ月ぶりに減少。利用者数が4・3％減少した。

ボウリング場は5・5％減の11億5100万円と、4カ月連続で減少。利用者数が6・1％減少した。

パチンコホールは7・8％減の2620億3500万円と、4カ月連続で減少した。

対個人サービス業の教養・生活関連5業種の売上高は、全てが前年同月を下回った。結婚式場が13・8％減と大きく減少。外国語会話教室が5・4％、葬儀業が2・5％、学習塾が1・0％、フィットネスクラブが0・8％それぞれ減少した。

中小企業の景況見通し

業況DI前年比改善

日本公庫調査　外需の増加に期待

日本政策金融公庫はこのほど、2020年の中小企業の景況見通しに関する調査を行った。2020年の業況判断DI（前年比で改善の企業割合から悪化の企業割合を引いた値）は前年比14・0ポイント増のマイナス4・1と、マイナス水準ながら19年から改善の見通しだ。業況改善に向けて期待する要素は「海外景気の回復による外需の増加」が最も多く挙がっている。

調査は19年11月中旬、三大都市圏の同公庫取引先900社に実施。このうち534社から有効回答を得た。

まず、19年の業況判断を聞くと、改善が15・9％、横ばいが50・1％、悪化が34・0％。改善から悪化を引いたDIがマイナス18・1だった。

一方、20年の業況判断見通しは、改善が19・1％、横ばいが57・7％、悪化が23・2％。改善から悪化を引いたDIがマイナス4・1だった。

20年のDIを6の需要分野別に見ると、食生活関連が25・0、電機・電子関連が21・7と、それぞれプラス水準になっている。ほかの設備投資関連（マイナス7・1）、建設関連（マイナス13・8）、乗用車関連（マイナス16・4）、衣生活関連（マイナス32・3）はマイナス水準にとどまる。

前年との比較では、食生活関連と電機・電子関連が前年のマイナス水準からプラス水準に転換。建設関連が前年のプラス水準からマイナス水準に転落。ほかの3分野はマイナス幅が縮小した。

20年の業況改善に向けて期待する要素は「海外景気の回復による外需の増加」が22・8％とトップ。「2020年予定の東京五輪に伴う需要の発生」が17・2％と続く。

以下は、「株高や所得の増加による消費マインドの改善」（13・6％）、「政府・地方公共団体等による各種政策・予算の執行」（12・6％）など。

経営上の不安要素は（三つまでの複数回答）、「国内の消費低迷、販売不振」（73・6％）、「人材の不足、育成難」（59・7％）、「原材料価格、燃料コストの高騰」（38・8％）などが挙がっている。

10〜12月期の景況判断

大企業、2期ぶりにマイナス圏

内閣府など調査　来期はプラス圏に回復

内閣府、財務省はこのほど、法人企業景気予測調査の2019年10〜12月期分を公表した。同期の自社の景況判断BSI（前期比で景況が上昇の企業割合から下降の企業割合を引いた値）は大企業で前期（19年7〜9月期）比7・3ポイント減のマイナス6・2と、同年4〜6月期以来2期ぶりのマイナス圏となった。来期（20年1〜3月期）は大企業でプラス圏に回復する見通し。

大企業（資本金10億円以上）のうち、製造業はマイナス7・8、非製造業はマイナス5・3で、前期からそれぞれ7・6ポイント、7・1ポイント低下した。非製造業で前期のプラス圏からマイナス圏に転落。製造業はマイナス幅が拡大した。

中堅企業（同1億円以上、10億円未満）は同11・2ポイント減のマイナス10・7。前期のプラス圏からマイナス圏に落ち込んだ。

中小企業（同1千万円以上、1億円未満）は同6・3ポイント減のマイナス16・3。前期からマイナス幅が拡大した。

来期は大企業が今期比8・2ポイント増の2・0と、プラス圏に回復の見通し。中堅企業は同9・8ポイント増のマイナス0・9、中小企業は同6・7ポイント増のマイナス9・6と、ともにマイナス幅が縮小の見通し。

RAKO 華乃井ホテル

浜の湯

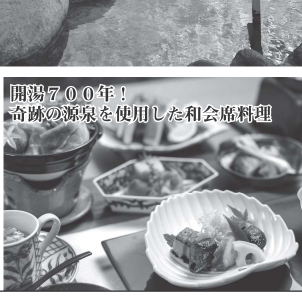
聴泉閣 かめや

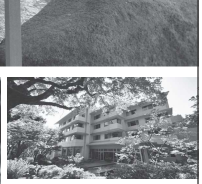
門前ひろば 食祭館

諏訪湖リゾート株式会社
（2019年9月託児所 OPEN）

上諏訪温泉　RAKO 華乃井ホテル　浜の湯
下諏訪　聴泉閣 かめや　門前ひろば 食祭館
総合予約センター　☎0266-54-0333
〒392-0022　長野県諏訪市高島2-1200-3
http://www.suwako-resort.co.jp/

新潟県最大級の庭園大露天風呂が自慢です！
皆様に愛され続けて150年
人気温泉旅館ホテル250選　入選
5つ星の宿認定旅館
新潟県五頭温泉郷村杉温泉
風雅の宿　長生館
新潟県総合満足度の高い宿 2017 ベスト5
新潟県観光地満足度調査





創業150年の歴史を持つ老舗旅館です。全国でも数が少なく貴重なラジウム温泉を県内最大級の広さを誇る庭園大露天風呂を趣の異なる3棟の貸切露天風呂でお楽しみ下さい。全室から四季折々の風情が豊かな4,000坪の大庭園を眺められ、お料理は季節の旬と地元食材にこだわり、ラジウム源泉を調理にも使用した特製和会席料理をお楽しみくださいませ。

風雅の宿　長生館
〒959-1928　阿賀野市村杉温泉
TEL.0250-66-2111
http://chouseikan.co.jp